

1 制度改正趣旨

本市の入札・契約制度については、公平性・公正性・透明性・競争性の確保を基本として、関係法令の改正や時代の流れを捉えて適切に見直しを図ってきたが、近年、地域の守り手である建設業者等がその役割を果たし続けるため、様々な課題解消に向けた取り組みが必要となっている。今回は、昨年、水道局において、設計単価に誤りがあったにもかかわらず、最低制限価格と同額で落札した事例や、市においても、市営住宅の解体工事について情報漏えいを疑われる事案が生じたことから、水道局が設置した「設計単価の誤りによる工事契約解除に係る調査確認委員会」による調査確認報告書の意見を参考に、次の点について制度を見直す。 ※ 令和 7 年 4 月から実施予定

2 総合評価方式の拡充

- (1) 趣旨
- ① 価格のみによらず総合的な価値による競争を促進することにより、建設工事等の品質確保に加え、談合等の不正防止をはかる。
 - ② ①の趣旨を踏まえつつ、これまでの標準型、簡易型に加え、新たに小規模な工事を対象として、災害対応や道路の維持補修などの市民の安全・安心を担う地元に着した事業者の受注機会の確保に配慮し、より多くの事業者が参加できるよう、評価項目が少ない「特別簡易型」を導入する。

(2) 改正内容

従来		令和 7 年 4 月以降
標準型 簡易型	(設計金額) 1億5千万円以上	(設計金額) 同左
	5千万円以上	
		〔追加〕 特別簡易型 5千万円未満 3千万円以上

○ 評価項目 施工実績等、企業の技術力、技術者の技術力、災害時の協力や道路維持管理業務の実績など、企業努力について評価
(別紙 1 のとおり)

3 変動型最低制限価格制度（ランダム係数）の導入

- (1) 趣旨
最低制限価格を開札当日に決定することにより、発注者を含め誰もが入札前に最低制限価格を知り得ないものとなり、外部から職員に対する不当な働きかけ又は口利き行為が発生しにくいものとなる。
- (2) 改正内容
品質確保及びダンピング受注防止の観点から、最低制限価格制度を実施しているが、情報漏えい（の疑惑）の防止の観点から、これまで、開札日の前日までに予定価格及び最低制限価格の決定権者が決定していた最低制限価格について、開札時に、最低制限価格の算出の基礎となる価格に一定の範囲で無作為に発生させた係数（以下「ランダム係数」という。）を乗じて算出する変動型最低制限価格制度を導入する。
- ① 対象工事 130万円以上の工事等
(これまでと変更なし。ただし、総合評価方式は除く。)
 - ② ランダム係数の範囲 0.9990～1.0010
 - ③ 通り数 21通り程度
 - ④ 参考例（最低制限価格の算出の基礎となる価格が、3,000万円の場合）
29,970,000円 ～ 30,030,000円

5 水道局の取組 受注機会の拡大に向けた見直しに関する検討

不正防止を図るための見直しを着実に実施するとともに、さらに水道局において、受注機会の拡大の見直しについて、試行的に実施する。

- ① 一抜け方式の導入
より多くの事業者の受注機会の拡大を図るため、開札順番に従い、落札候補者となった者が提出した次以降の入札書を無効とし、落札候補者を決定する一抜け方式を導入する。（別紙 3 のとおり）
- ② 地域制限付き一般競争入札の導入
災害時の応急復旧対応や緊急修繕等の工事を担い、地域の維持に不可欠な地域事業者の受注機会の確保を図るため、水道施設の管路工事に限り地域制限付き一般競争入札を導入する。

4 工事費内訳明細書の見直し

- (1) 趣旨及び改正内容
談合等の不正行為が疑われた場合には、入札金額の内訳だけでは詳細な積算内容等の確認が困難であることから、積算内容を迅速に確認するため、入札時の工事費内訳明細書に基となる積算額を記載させるとともに、積算システム等で算出した詳細な内訳書の提供が求められるよう、工事費内訳明細書を変更する。
- (2) 見直し後の工事費内訳明細書 別紙 2 のとおり

【現行】

標準型	63.5点
技術提案	20.0点
簡易型	43.5点
企業の技術力	10.0点
過去15年間の公共工事における同種・類似工事の施工実績	2.0点
過去5年間のいわき市発注の同工種工事における工事成績評定点の平均点	4.0点
過去15年間のいわき市発注の指定部門における優良工事表彰の受賞実績	1.0点
ISO9001又はJISQ9001の認証取得	1.0点
安全管理	1.0点
建設キャリアアップシステムの利用	1.0点
配置予定技術者の技術力	5.0点
過去15年間の公共工事における同種・類似工事の施工実績	2.0点
保有する資格	2.0点
指定する資格の保有年数	1.0点
地域貢献等	18.5点
環境への配慮	1.0点
市内業者の活用	2.0点
過去15年間のいわき市内における公共工事の施工実績	1.0点
入札参加者の所在地	1.5点
市内における過去3年間以上継続したボランティア活動又は地域づくり活動の実績	1.0点
福島県次世代育成支援企業認証制度における「働く女性応援」若しくは「仕事と生活の調和」の認証又はいわき市女性活躍推進企業認証制度における認証取得	1.0点
消防団への協力	1.0点
献血への協力	1.0点
いわき市民を雇用している場合において、その者に対する市県民税の特別徴収の実施	1.0点
次のいずれかに該当する場合（2項目までの評価とする。） ア 法定義務のある企業にあっては法定雇用率以上の障がい者雇用が、法定義務のない企業にあっては障がい者雇用があること。 イ いわき市内において過去1年以内に新卒者又は離職者を1名以上雇用（正規雇用）していること。 ウ いわき市内における従業員数（正規雇用）が1年前より1名以上増えていること。	2.0点
次のいずれかに該当する場合 ア いわき市内で過去3年間に災害時の出勤実績があること。 イ いわき市内が協定の範囲に含まれている災害時の応援協定をいわき市と締結していること。	3.0点
いわき市発注の道路維持補修若しくは下水道施設の修繕等を履行又は除雪契約を受注した実績の有無	2.0点
ふくしま健康経営優良事業所の認定を取得	1.0点
品質確保等の確実性	10.0点
低入札調査基準価格以上の応札	5.0点
施工計画の適切性	5.0点



【特別簡易型】

特別簡易型	28.5点
企業の技術力	9.0点
過去15年間の公共工事における同種・類似工事の施工実績	2.0点
過去5年間のいわき市発注の同工種工事における工事成績評定点の平均点	4.0点
過去15年間のいわき市発注の指定部門における優良工事表彰の受賞実績	1.0点
ISO9001又はJISQ9001の認証取得	1.0点
安全管理	1.0点
配置予定技術者の技術力	5.0点
過去15年間の公共工事における同種・類似工事の施工実績	2.0点
保有する資格	2.0点
指定する資格の保有年数	1.0点
地域貢献等	9.5点
市内業者の活用	2.0点
入札参加者の所在地	1.5点
消防団への協力	1.0点
次のいずれかに該当する場合 ア いわき市内で過去3年間に災害時の出勤実績があること。 イ いわき市内が協定の範囲に含まれている災害時の応援協定をいわき市と締結していること。	3.0点
いわき市発注の道路維持補修若しくは下水道施設の修繕等を履行又は除雪契約を受注した実績の有無	2.0点
品質確保等の確実性	5.0点
低入札調査基準価格以上の応札	5.0点

変更のイメージ

工 事 費 内 訳 明 細 書

商号又は名称

工 事 名			工事場所				工 期 (予定)		積算金額
							年 月 日から	年 月 日まで	
名 称	名 称 内 容	材 料 (労 力)	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要	
直接工事費									積算金額は、左記 「金額」の元と なった金額です。
共通仮設費									
現場管理費									
一般管理費等									
工事費 計								入札金額	
消費税				10	%			円未満切捨て	
合計									

追加部分

【留意事項】
※ 次の場合は、入札の無効となりますので、ご注意ください。
○指定された記入欄（商号又は名称、金額等）に空欄や記載誤りがあるもの。
○各工種の合計金額が、「直接工事費」の金額と一致しないもの。
○工事費計の金額と初度の入札書の記載金額が一致しないもの。（内訳書における1万円未満の金額の端数処理（切下げ、切上げ）を行った場合を除く。）
※ 鉛筆や消せるボールペン等、記載した内容を容易に削除することが可能なものは使用しないようにしてください。

※ の枠内を記入してください。
※ 談合等が疑われた時には、詳細な「積算金額」の内訳書を提出していただきます。

水道局独自の取組①

一抜け方式の導入

工種、公告日・開札日、入札参加資格要件が同一の水道施設工事について実施（総合評価方式を除く）。

イメージ

開札順（落札者決定順序）

入札参加者	工事 1	工事 2	工事 3
	評価値順位	評価値順位	評価値順位
A社	2 位	4 位	3 位
B社	5 位	3 位	2 位
C社	1 位 落札	無効	無効
D社	3 位	1 位 落札	無効
E社	4 位	2 位	1 位 落札

※開札順は、原則設計金額の大きい順とする。なお、対象工事の入札書提出締め切り時間は同日同時刻で設定する。

※公告時に「一抜け方式」適用工事であることを明記する。